

西宮市消防職員採用試験を受験される方へ

私は鳴尾消防署に勤務する2年目の職員です。

私が消防士を目指した理由は、人のためになりたい、人を笑顔にしたいと思ったからです。

今、私は警防担当として事務作業、届出の対応、警防訓練、救急業務などで忙しく日々を送っています。体力的、精神的に辛いこともあります。誇りややりがいを感じることもできるとても良い職業だと実感しています。

勤務体制は24時間ですが、上司は親のような存在で、とても良い環境です。

私は今、事務作業の多さにとても苦労していますが、日々先輩のサポートを頂き少しずつ覚えているところです。

西宮市消防局の優れた資機材と戦術を活かし、共に市民の安全を守りましょう。



消防士 新田 哲己

(平成30年4月1日採用)

私は鳴尾消防署で勤務している、2年目の職員です。

1年間働いて消防士という仕事は、市民からとても信頼されているのだなと感じています。そして、市民の期待に応えられるように、救急救命士の資格を取得し、立派な救急隊員になることを目標として、現在働いています。

消防士になるにあたってのアドバイスとしては、まずは採用試験に受からなくてはならないので、公務員試験対策の勉強をする必要があります。

採用試験には、体力試験もあるため、腕立て伏せや腹筋、ランニングなど、自重でできるトレーニングを行っていけば良いと思います。

勉強に行き詰ったときに息抜きとして、トレーニングを行うなど、生活にメリハリをつけることは、消防職員になっても重要です。なぜなら、消防職員は、普段訓練をしているだけでなく、事務作業も多くあり、頭の切り替えが重要だからです。

採用試験を受けられる方々の健闘をお祈りしています。

消防士 中村 一智

(平成30年4月1日採用)



西宮市消防職員採用試験を受験される方へ

私は、浜消防分署で勤務している、2年目の職員です。

消防の業務は、消火・救助・救急・予防等様々な分野があり、どれも人の命や財産を守ることに繋がっています。一つ一つの仕事全てが市民のためになるということも消防という仕事の大きな魅力だと思います。また、西宮市消防局は、阪神地区を代表する消防本部であり、優れた資機材や戦術で現場活動を行うことができます。

日々の訓練では、経験豊富な先輩方が、様々な知識や技術を教えてくださるため、より充実した訓練が行えます。

消防士には、強靱な体力や精神力、様々な知識が求められ、辛いこともあります。やりがいも多く感じられます。やりがいがあり、強い使命感・誇りを持ち市民の命や財産を守る消防という仕事は素晴らしい職業だと思います。西宮市消防局で皆さんと仕事ができる日を楽しみに待っています。

消防士 川田 泰輝

(平成30年4月1日採用)



私は瓦木消防署で勤務している、2年目の職員です。

救助隊に憧れ、中でも SENSUR と呼ばれる高度救助隊がある西宮市消防局で働きたいと強く思い受験しました。

消防の職務は、人の生命に関わる仕事ですので、厳しい場面はいくつもありますが、市民と接することの多い職業なので、たくさんのやりがいを感じます。

また、消火だけでなく、立入検査や地水利調査などの業務があるため、自分の成長にとって、多くの経験を積むことができます。

自分が消防士に必ずなるという強く、ぶれない気持ちを最後まで持ち続けて、頑張ってください。みなさんと働ける日を心待ちにしています。

消防士 山口 拓実

(平成30年4月1日採用)



西宮市消防職員採用試験を受験される方へ

私は瓦木消防署で勤務している、2年目の職員です。

消防署での24時間勤務では、体力的に厳しいこともあります。頼れる上司の方や優しくも優しい先輩と過ごす当務は充実したものになります。

まだまだ教えていただくことが多いですが、早く一人前になりたいと前向きに職務に取り組むことのできる職場です。

仕事のやりがいは、市民の方の役に立っていると実感を得ることができることです。日々の業務から責任感を持ち、有事に対して準備を重ねることが重要だと考えています。

また、巡らの最中に子供たちから手を振られることも多く、市民の方に愛される職業です。

消防士が市民に愛されているのは、先輩方のおかげです。先輩方が築き上げた西宮市消防局のイメージを更に良いものにできるように努力していきたいと思います。

皆さんと西宮市の平和と安全を守る日を楽しみにしています。



消防士 森本 晴也

(平成30年4月1日採用)

私は北消防署で勤務している、2年目の職員です。

西宮市は、火災、救急、その他の出動が他市と比べても多く、現場を通じて学ぶことが多々あると思います。私は、救急救命士の国家資格を有し、消防士として働き始めました。消防学校を卒業し、2か月間の救急研修期間に200件以上の現場に出動し、上司から様々なことを吸収しました。現場活動を通し、私に不足したスキルに気づくことができ、それらを上司と共に座学や訓練で補ってスキルアップさせてきました。

このように非常に恵まれた環境に身を置くことができます。また、西宮市消防局は、職員定数の増員により、若手職員も多く、活気のある組織で、年齢の近い上司も多いため、気軽に悩み事や不安なことを相談することができ、前向きに仕事に取り組めます。

西宮市消防局に採用され、共に働ける日がくることを心からお待ちしています。

消防士 合田 篤史

(平成30年4月1日採用)



西宮市消防職員採用試験を受験される方へ

私は北消防署で勤務している、2年目の職員です。

消防という職業は、市民の生命や財産を守るやりがいのある仕事です。

私自身、救助隊に憧れ、オレンジの服を着て、最前線で困っている人を助けたいという強い気持ちで試験を受けました。

西宮市消防局には、優れた資機材や戦術が多々あり、知識豊富な先輩方が熱心に指導して下さるため、常に成長できる環境にあります。

また、24時間という長い勤務ではありますが、オンとオフの切り替えがしっかりとしており、メリハリがある働きやすい職場です。

厳しい訓練はありますが、仕事を通じて命の大切さを学べるため、誇りを持ちながら日々の仕事に取り組むことができます。

試験は、楽なものではありませんが、消防士になりたいという強い気持ちを持ち続けて頑張ってください。

皆さんと共に働けることを心待ちにしています。

消防士 田中 健太

(平成30年4月1日採用)



私は北消防署で勤務している、2年目の職員です。

消防の仕事は、警防・救助・救急・予防等、様々な業務があります。どの業務も市民の命や財産を守るためにあり、市民からの期待はととても大きく、責任もあります。

何かあった時に市民の方々の力になれる仕事だからこそ、やりがいを感じると思います。

実際、火災や災害による出動は、あまり多くありません。普段は、火災や災害に備えて、訓練を多く行っています。厳しい訓練もありますが、新しいことを学び、成長していることを感じる事ができ、とても充実した日々を送っています。

消防は、決して楽な仕事ではなく、苦しいこともたくさんあります。

しかし、やりがいがあり、人に誇ることでできる仕事は他にありません。

私たちと多くの人を守るために一緒に働きましょう。

消防士 岩井 健人

(平成30年4月1日採用)



西宮市消防職員採用試験を受験される方へ

私は山口分署に勤務している、2年目の職員です。

消防士は、危険な現場、過酷な訓練、階級制度に基づいた上下関係など、一般の方々が想像するような厳しさもちろんあります。しかし、それらを加味しても消防士になって良かったと私は胸を張れます。

私たち消防士は、市民の人命と財産を守ることが仕事です。その使命のため、災害に備えて訓練を行い、研鑽を続けています。体力、精神的に苦しいこともあります。自分の成長を感じた時には、達成感を得ることができます。市民から感謝や応援の声を頂いたときには、誰かの役に立っているという実感が沸き、消防士という職業を選んで良かったと感じることができます。

消防士に欠かせないものは、熱い気持ちだと思います。熱い気持ちを持っている方は、是非とも西宮市消防局で働きましょう。

消防士 山口 浩輝
(平成30年4月1日採用)

